

## 8. 産官学・地域連携

### (1) 東京農業大学

#### 1) 東京農業大学と自治体等の連携

No.	連携先	協定締結日
1	静岡県富士宮市	平成16年12月16日
2	世田谷区教育委員会	平成17年2月22日
3	長野県白馬村	平成17年3月29日
4	新潟県上越市	平成17年4月18日
5	新潟県妙高市	平成17年6月8日
6	沖縄県宮古島市	平成17年9月15日
7	鹿児島県瀬戸内町	平成18年6月27日
8	山梨県小菅村	平成18年10月20日
9	北海道網走市	平成19年4月1日
10	愛媛県西条市	平成20年3月14日
11	北海道標津町 <sup>*2</sup>	平成20年7月3日
12	長野県長和町	平成20年11月25日
13	長野県木曾町	平成20年11月28日
14	北海道中標津町(教育委員会) <sup>*2</sup>	平成20年12月3日
15	新潟県佐渡市	平成21年5月28日
16	北海道別海町(教育委員会) <sup>*2</sup>	平成21年12月12日
17	福島県鮫川村	平成22年6月30日
18	宮城県角田市	平成22年7月9日
19	岩手県久慈市	平成22年7月10日
20	北海道福島町 <sup>*2</sup>	平成22年7月30日
21	磐田市香りの博物館 <sup>*2</sup>	平成23年11月26日
22	群馬県川場村	平成24年1月20日
23	国土交通省北海道開発局網走開発建設部 <sup>*2</sup>	平成25年3月26日
24	鹿児島県屋久島町	平成25年5月13日
25	茨城県	平成26年7月17日
26	長野県木島平村	平成26年7月28日
27	茨城県行方市 <sup>*2</sup>	平成26年12月18日
28	福島県矢吹町 <sup>*1</sup>	平成26年12月19日
29	群馬県富岡市	平成26年12月22日
30	北海道紋別市 <sup>*2</sup>	平成27年3月21日
31	福島県会津若松市	平成27年5月29日
32	福島県北塩原村	平成28年3月22日

<sup>\*1</sup> 厚木キャンパス

<sup>\*2</sup> 北海道オホーツクキャンパス

No.	連携先	協定締結日
33	北海道斜網地区4町(斜里町, 小清水町, 清里町, 大空町) <sup>*2</sup>	平成28年5月12日
34	長崎県対馬市	平成28年6月6日
35	長野県青木村	平成28年7月19日
36	高知県津野町	平成28年7月26日
37	鹿児島県喜界町	平成28年7月28日
38	北海道北見市 <sup>*2</sup>	平成28年8月3日
39	石川県輪島市	平成28年10月7日
40	高知県	平成28年10月20日
41	北海道登別市 <sup>*2</sup>	平成28年12月21日
42	長野県伊那市	平成28年12月27日
43	鹿児島県南大隅町	平成29年1月18日
44	北海道	平成29年3月30日
45	兵庫県	平成29年4月24日
46	埼玉県ちちぶ定住自立圏	平成29年11月17日
47	大分県杵築市	平成29年11月20日
48	長野県木祖村	平成29年11月27日
49	島根県邑南町	平成30年1月10日
50	新潟県魚沼市	平成30年2月14日
51	長野県	平成30年2月15日
52	佐賀県みやき町	平成30年2月22日
53	大分県竹田市	平成30年8月30日
54	山梨県南アルプス市	平成30年9月15日
55	横浜市環境創造局	平成30年10月22日
56	霧島ガストロノミー推進協議会	平成30年10月23日
57	福島県相馬市	平成30年12月20日
58	福島県浪江町	平成31年1月31日
59	茨城県阿見町	平成31年3月18日
60	熊本県山都町	平成31年3月27日
61	兵庫県南あわじ市	令和元年5月13日
62	和歌山県太地町	令和元年5月15日
63	沖縄県石垣市	令和2年3月24日
64	秋田県大潟村	令和2年3月31日

#### 2) 組合等の連携

No.	連携先	協定締結日
1	世田谷目黒農業協同組合 (JA 世田谷目黒)	平成28年5月11日
2	上伊那農業協同組合 (JA 上伊那)	平成28年12月27日
3	上伊那森林組合 (JF 上伊那)	平成28年12月27日
4	花巻農業協同組合 (JA いわて花巻)	平成29年1月30日
5	信州うえだ農業協同組合 (JA 信州うえだ)	平成29年4月19日
6	菊池地域農業協同組合 (JA 菊池)	平成30年4月18日
7	オホーツク網走農業協同組合* (JA オホーツク網走)	平成29年6月14日
8	網走漁業協同組合*	平成30年6月18日
9	西網走漁業協同組合*	平成30年6月18日
10	ふくしま未来農業協同組合 (JA ふくしま未来)	平成30年7月9日
11	全国農業協同組合連合会 (JA 全農)	平成30年7月10日
12	厚木市農業協同組合 (JA あつぎ)	平成30年11月7日
13	東京都農業協同組合中央会 (JA 東京中央会)	平成30年12月27日
14	あわじ島農業協同組合 (JA あわじ島)	令和元年5月13日
15	太地町漁業協同組合	令和元年5月15日
16	太地水産共同組合	令和元年5月15日
17	ふらの農業協同組合 (JA ふらの)	令和2年3月31日
18	全国森林組合連合会	令和2年3月31日

\* 北海道オホーツクキャンパス

### 3) 産官学・地域連携

No.	連携先	協定締結日
1	独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構 北海道農業研究センター	平成16年4月1日
2	財団法人北海道科学技術総合振興センター*	平成21年3月30日
3	日本野菜ソムリエ協会札幌支部*	平成24年1月25日
4	群馬県川場村 清水建設株式会社	平成24年2月24日
5	網走商工会議所*	平成25年1月29日
6	沖縄県宮古島市 東京急行電鉄株式会社 宮古観光開発株式会社	平成25年2月15日
7	福島県会津若松市 イオンリテール株式会社	平成27年5月29日
8	一般財団法人 前田一歩園財団*	平成28年6月2日
9	公益財団法人 オホーツク地域振興機構*	平成28年10月14日
10	長野県伊那市 上伊那農業協同組合 (JA 上伊那) 上伊那森林組合 (JF 上伊那)	平成28年12月27日
11	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構*	平成29年3月6日
12	一般社団法人 網走青年会議所*	平成29年6月4日
13	ワイツマン科学研究所 株式会社日健総本社	平成29年7月7日
14	一般社団法人 日本化粧品検定協会*	平成29年10月9日
15	ミャンマー連邦共和国カレン州政府 公益財団法人日本財団	平成30年10月23日
16	東京都農業協同組合中央会 (JA 東京中央会) 日本ユニシス株式会社	平成30年12月27日
17	兵庫県南あわじ市 あわじ島農業協同組合 (JA あわじ島)	令和元年5月13日
18	和歌山県太地町 太地町漁業協同組合 太地水産共同組合	令和元年5月15日

\* 北海道オホーツクキャンパス

#### ■産官学・地域連携に関する行事

開催日	会場	内容
令和元年度 産官学意見交流会		
令和元年10月9日	農大アカデミア センター横井講堂	第1部：基調講演、連携事例発表（自治体編・企業編） 第2部：ポスターセッション
創立128年東京農業大学収穫祭 地域連携物産展		
令和元年11月1日～3日	18号館2F 渡り廊下	本学と連携協定を締結している8団体が出展し、地域連携物産展を開催しました。 新潟県魚沼市/山梨県南アルプス市/島根県邑南町/熊本県山都町/鹿児島県南大隅町/鹿児島県霧島ガストロノミー推進協議会/鹿児島県喜界町/JA ふくしま未来

### 4) 企業との連携

No.	連携先	協定締結日
1	ロイヤルホールディングス株式会社	平成20年9月27日
2	網走信用金庫*	平成23年3月3日
3	株式会社アルビオン*	平成25年4月1日
4	株式会社パソナ農援隊*	平成25年9月2日
5	株式会社ノエビア*	平成25年11月22日
6	株式会社北洋銀行*	平成26年6月30日
7	株式会社日本政策金融公庫北見支店*	平成26年7月29日
8	株式会社マイファーム*	平成27年3月9日
9	三井物産株式会社	平成27年7月1日
10	株式会社サカタのタネ	平成27年7月29日
11	三菱地所株式会社 一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会	平成27年8月3日
12	木徳神糧株式会社	平成27年10月16日
13	株式会社ウェザーニューズ	平成27年12月11日
14	株式会社 JTB 関東*	平成27年12月15日

No.	連携先	協定締結日
15	株式会社日本香堂	平成 27 年 12 月 21 日
16	北見信用金庫*	平成 28 年 1 月 8 日
	遠軽信用金庫*	
18	日本食研ホールディングス株式会社	平成 28 年 1 月 28 日
19	株式会社日比谷アメニス	平成 28 年 3 月 2 日
19	北海道新聞社*	平成 28 年 3 月 8 日
20	釧路信用組合*	平成 28 年 3 月 16 日
21	エバラ食品工業株式会社	平成 28 年 4 月 6 日
22	野村證券株式会社	平成 28 年 4 月 13 日
23	株式会社舞台ファーム*	平成 28 年 4 月 22 日
24	株式会社ミツハシ	平成 28 年 4 月 25 日
25	日立キャピタル株式会社	平成 28 年 6 月 29 日
26	ケンコーマヨネーズ株式会社	平成 28 年 8 月 31 日
27	株式会社ブルックスホールディングス	平成 28 年 9 月 9 日
28	松谷化学工業株式会社	平成 28 年 10 月 17 日
29	株式会社フリーデン	平成 28 年 11 月 21 日
30	北海道銀行*	平成 28 年 11 月 25 日
31	東洋ライス株式会社	平成 28 年 12 月 7 日
32	ヤマザキビスケット株式会社	平成 29 年 1 月 31 日
33	株式会社三井住友銀行	平成 29 年 3 月 27 日
34	サッポロホールディングス株式会社	平成 29 年 7 月 31 日
35	キューピー株式会社	平成 29 年 8 月 2 日
36	株式会社メロスコスメティックス*	平成 29 年 10 月 9 日
37	株式会社ファインケメティックス*	平成 29 年 10 月 9 日
38	株式会社農業総合研究所	平成 30 年 3 月 13 日
39	株式会社カクイチ	平成 30 年 6 月 26 日
40	日本郵便株式会社	平成 30 年 10 月 12 日
41	株式会社横浜銀行	平成 30 年 10 月 29 日
42	富士通株式会社	平成 30 年 12 月 21 日
43	株式会社日清製粉グループ本社	平成 31 年 1 月 28 日
44	株式会社久原本家グループ本社	平成 31 年 2 月 13 日
45	株式会社新宿高野	令和元年 8 月 20 日
	株式会社タカノフルーツパーラー	
46	株式会社アルビオン	令和元年 10 月 30 日
47	株式会社ウェルシャンバイオテクノロジー	令和元年 11 月 6 日
48	株式会社パスコ	令和元年 12 月 23 日
	東京情報大学	
49	万田発酵株式会社	令和 2 年 1 月 22 日

\* 北海道オホーツクキャンパス

## 5) 研究機関との連携

No.	連携先	協定締結日
1	独立行政法人国際協力機構	平成 28 年 5 月 13 日
2	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所	平成 28 年 8 月 4 日
3	特定非営利活動法人環境修復保全機構	平成 29 年 7 月 27 日
4	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	平成 29 年 9 月 6 日
5	独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE)	平成 31 年 1 月 9 日

## 6) せたがや e カレッジ

### ①概要

せたがや e カレッジは、世田谷区内6大学（国士舘大学・駒澤大学・昭和女子大学・成城大学・東京都市大学・東京農業大学）と区教育委員会が、共同で運営する生涯学習 Web サイトです。大学、そして教育委員会の特色あるコンテンツを配信しています。（<http://setagaya-ecollege.com/>）

### ②せたがや e カレッジおよび運営委員会組織

- ・せたがや e カレッジ 名誉学長 保坂 展人(世田谷区長)
- ・せたがや e カレッジ運営委員会組織

役職	氏名	所属
代表	内藤祐子	国士舘大学生涯学習センター副センター長
副代表	末政直晃	東京都市大学地域連携・生涯学習推進室室長
運営委員	猿山義広	駒澤大学副学長・経済学部教授
運営委員	丸山信人	昭和女子大学現代教養学科准教授
運営委員	有田英也	成城大学共通教育研究センター長
運営委員	大浦裕二	東京農業大学エクステンションセンター長
運営委員	田村朋章	世田谷区教育委員会事務局生涯学習・地域学校連携課長

### ③開講講座

講座名	講師	
	所属学科	氏名
日本近代化に尽力した榎本武揚から学ぶ地方創生のヒント	自然資源経営学科	黒瀧秀久
香りの科学と美学	総合研究所	藤森 嶺
地域創生 ひと育て・まち育て実践講座	総合研究所	木村俊昭
中山間地域の現状と課題 ～熊本県山都町を事例に～	山都町地域創生アドバイザー	下田美鈴

※ 講師欄の職階はコンテンツ作成時のものです。《東京農大主催・関連講座4講座》

(3) 農山村支援センター

◆令和元年度の主な成果

事業名	対象	概要・成果
農村集落活性化支援事業	茨城県常陸大宮市	エゴマの生産・加工・販売の体制について、道の駅運営会社が行うよう体制を強化した。久慈川流域の水防竹林については、継続的に保安全管理を行う新組織を発足。林野庁や民間助成財団の資金を導入した活動継続体制を構築した。
	茨城県常陸太田市	柿を使った特産品開発を推進した。地元福祉作業所と連携した干し柿を使ったフロランタン、摘果した柿を塩水脱渋し漬物にした柿の丸漬け、柿の葉茶などが、地元道の駅等での販売を開始するなど、着実に自走する状況が整いつつある。
	福井県若狭町	風景づくり、拠点づくり、地場産品研究、ツーリズムの視点から、研究会を開催し、明神湖を中心とする地域経営会議を定期開催できるようになった。特に、明神湖周辺、土捨場跡地広場、熊川宿周辺広場での植樹活動は定例化することができた。
農山漁村振興交付金事業(山村活性化対策)	茨城県城里町	有害鳥獣駆除によって捕獲されるイノシシの有効活用のための処理施設の採算性検討、設備検討を行い、保健所への事前確認を行った。町内でジビエフェアを開催することを通じて、イノシシ肉のPR、革製品の制作体験など、PR活動に取り組んだ。
	埼玉県秩父市	上吉田地区でクルミの樹皮を活用した籠等クラフト製品の商品化に取り組んだ。外部講師を招聘した技術習得のほか、制作した商品等をPRするために地元イベント等に出品して販売活動を行った。また、継続的にクルミ樹皮が採取可能となるよう、苗の育成、耕作放棄地等への植栽を行った。
	埼玉県小鹿野町	蜂蜜を使ったお酒「ミード」を商品化するため、養蜂家から試作用蜂蜜を購入し、峰の雪酒造での試験醸造を行った。そのほか、地元事業者とともに、蜂蜜関連商品の開発に取り組み、様々な試作品開発を行った。こうしたことを通じ、養蜂家へのモチベーションアップにもつながっている。
	三重県いなべ市	レンタルした焼き機等を用いて制作した焼き菓子百貨店等イベント出店を通じて試験的に販売を行った。また、小学校跡地では地元住民が主体となったワークショップが開催され、野草等に対する理解がさらに深まった。
	福井県若狭町	藤や葛などが持つ薬効成分に着目した商品開発を行うため、既存文献等をテキストとして学ぶ機会を設けるとともに、先進事例調査等を行った。実際に商品化されているものをサンプルとして取り寄せ、開発に必要な機器等をレンタルすることで試作を行った。
	島根県邑南町	職人育成を通じたそば街道づくりを目指し、そば生産組合を立ち上げ、ロゴマーク制作を通じたPR活動と消費者モニター調査を実施した。また、地元未利用材を活用したガーデニンググッズの商品化、養護学校と連携した木育玩具の製作、地元製材所を利用したリノベーション用品、古材を活用したインテリアグッズ等の工場の設立を進めた。
	高知県津野町	里芋を活用したスープは、近隣事業者を通じて缶詰としての商品化を検討した。そのほか、皮むき里芋(親芋)の冷凍パックとともに展示会等でのPR活動を行った。また、町産材等を使ったマルシェ什器やレーザー加工機を使った時計・アクセサリーなど多数の試作検討を行った。
	大分県杵築市	良質な米作りを行う地域の方々と共に、セキショウとホテルの里づくりを通じたブランド化を行うこととした。キャッチコピーと包装デザインの検討を行い、大分空港等でのPR活動を実施した。野草等の栽培体制を整え、研究会を通じた地元理解の醸成に努めた。
観光振興をめざした地域資源発掘方法の検討と学生交流計画の策定事業	新潟県魚沼市	過疎化の進む限界集落での地域活性化事業や学生インターンシップ交流の促進等を通じて、東京農業大学と魚沼市のさらなる連携を図ることを目指すとともに、伝統産業(紙すき・炭焼き)の後継者育成、地域産業の振興、魚沼ブランドの強化と新商品作り等を目指し、行動計画等を策定した。

## 9. 教育・研究機関

### (1) 東京農業大学連携大学院協定（東京農業大学）

「連携大学院方式」は、1) 従来の研究分野を超えた新たな学問領域による学際的学問分野の研究の推進、2) 研究領域の拡大及び多様化に対して、国公私立大学、独立行政法人及び民間の研究所等と連携協定を締結し、双方の施設・設備や人的資源を活用することを目的に実施されている。

具体的には、連携先研究機関の研究者を本学の客員教員（客員教授・客員准教授）として迎え、研究指導・論文指導や特別講義等を行っており、研究活動の活性化と農学に関する学術および技術の発展に貢献している。

[協定先]

東京農業大学大学院	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（平成 15 年度～） 国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター（平成 16 年度～） 公益財団法人 山階鳥類研究所（平成 17 年度～） 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所（平成 17 年度～） 国立研究開発法人 農業生物資源研究所（平成 19 年度～） 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター（平成 19 年度～） 国立研究開発法人 国立がん研究センター（平成 30 年度～） 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター（平成 30 年度～）
〃 農学研究科	一般財団法人 進化生物学研究所（平成 15 年度～）
〃 生物産業学研究科	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター（平成 16 年度～）

### (2) 東京農業大学

No.	連携先	協定締結日
1	世田谷 6 大学（国士舘大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、武蔵工業大学）	平成 13 年 12 月 10 日
2	国立大学法人北見工業大学	平成 19 年 12 月 4 日
3	厚木市及び市内 5 大学*2（神奈川工科大学、松陰大学、湘北短期大学、東京工芸大学）	平成 20 年 6 月 30 日
4	学校法人別府大学大分香りの博物館 *3	平成 23 年 9 月 9 日
5	学校法人日本赤十字学園日本赤十字北海道看護大学 *3	平成 25 年 3 月 6 日
6	嘉南薬理科技大学薬理学院（台湾） *3	平成 25 年 6 月 27 日
7	高苑科技大学行程学院（台湾） *3	平成 25 年 9 月 23 日
8	日本農業経営大学校 *3	平成 26 年 9 月 30 日
9	農水産大学校（韓国） *3	平成 26 年 11 月 26 日
10	国立大学法人佐賀大学 *3	平成 26 年 11 月 26 日
11	農協大学校（韓国） *3	平成 26 年 11 月 26 日
12	忠北大学校（韓国） *3	平成 27 年 1 月 30 日
13	拓殖大学北海道短期大学 *3	平成 27 年 3 月 27 日
14	嘉義大学生命科学院（台湾） *3	平成 27 年 7 月 28 日
15	上海日本人学校高等部 *3	平成 27 年 10 月 13 日
16	南京農業大学中華農業文明研究院 *3	平成 27 年 10 月 14 日
17	江原大学江原ウエルネス特産物地域イノベーションセンター（韓国） *3	平成 28 年 2 月 24 日
18	大阪大学大学院工学研究科*1	平成 28 年 4 月 1 日
19	北京大学経済学院（中国） *3	平成 28 年 5 月 27 日
20	北海道大学大学院水産科学研究院・大学院水産科学院・水産学部及び北方生物圏フィールド科学センター*3	平成 28 年 6 月 17 日
21	公益財団法人農民教育協会 鯉淵学園農業栄養専門学校	平成 28 年 10 月 17 日
22	学校法人昭和大学	平成 30 年 8 月 2 日
23	厚木商工会議所及び市内 5 大学*2（神奈川工科大学、松陰大学、湘北短期大学、東京工芸大学）	平成 30 年 9 月 28 日
24	國學院大學	平成 31 年 2 月 21 日
25	青山学院大学	平成 31 年 2 月 25 日
26	国立大学法人香川大学	令和元年 10 月 16 日
27	麻布大学	令和元年 11 月 21 日

\*1 大学院生物産業学研究科

\*2 厚木キャンパス

\*3 北海道オホーツクキャンパス

## ■網走支庁管内大学間単位互換に関する協定

東京農業大学生物産業学部は、オホーツク総合振興局管内の大学（北見工業大学、東京農業大学、日本赤十字北海道看護大学）間で、相互の交流と協力を促進し、教育内容の充実を図ることを目的として、「網走支庁管内大学間単位互換に関する協定書」を平成 15 年 1 月 30 日に締結した。

この協定により受け入れる学生は、「特別聴講学生」として 1 年間の履修期間が用意されている。本学生物産業学部の学生がオホーツク総合振興局管内の大学で取得した授業科目の単位については、卒業単位としても認定することができる。

※平成 31 年度（令和元年度）受入れなし

## （3）世田谷 6 大学コンソーシアム・世田谷プラットフォーム

平成 13 年 12 月、世田谷 6 大学コンソーシアムは、図書館の相互利用、他大学履修・単位互換、共同研究その他の研究交流等による教育・研究における相互啓発と地域社会への貢献を目的として、国士舘大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、東京農業大学、東京都市大学の間で締結された。

この枠組みにおける取り組みの一つとして、それぞれの大学の特色ある授業科目を他大学において開講しており、令和元年度は、本学において東京都市大学の西山敏樹准教授による「ユニバーサルデザイン」、昭和女子大学の胡秀敏教授による「世界の中の平安文学」を開講した。

また、同コンソーシアムは、発展的に平成 29 年に世田谷区、平成 30 年に区内産業界東京急行電鉄(株)、イツ・コミュニケーションズ(株)と包括協定を締結し、1) 文化・芸術・教育、2) 地域活性、3) 産業、4) 国際化、5) 大学等の連携を柱とする「世田谷プラットフォーム」として連携協力体制を構築している。

## ■令和元年度の主な事業

### 1) 保護者のための大学説明会 IN 二子玉川

2019 年 9 月 14 日（土） 場所：東京都市大学二子玉川夢キャンパス

### 2) 合同 SD 研修会 入職 3 年目大学職員対象研修会「私立大学の現状を学ぶ」グループワーク

2019 年 10 月 11 日（金） 場所：国士舘大学

## 10. 高大連携

### (1) 東京農業大学

キャンパス名	No.	連携先	学科	協定締結日
北海道オホーツク キャンパス	1	北海道女満別高等学校		平成 20 年 3 月 27 日
	2	北海道東藻琴高等学校		平成 20 年 9 月 18 日
	3	北海道網走桂陽高等学校		平成 20 年 10 月 23 日
	4	北海道佐呂間高等学校		平成 20 年 11 月 26 日
	5	北海道常呂高等学校		平成 21 年 3 月 11 日
	6	北海道清里高等学校		平成 22 年 1 月 20 日
	7	北海道美幌高等学校		平成 24 年 7 月 18 日
	8	北海道津別高等学校		平成 25 年 11 月 27 日
	9	北海道網走南ヶ丘高等学校		平成 21 年 3 月 23 日
	10	北海道中標津農業高等学校		平成 20 年 12 月 3 日
	11	北海道別海高等学校		平成 21 年 12 月 12 日
	12	北海道標津高等学校		平成 20 年 7 月 3 日